

## 企画展「日本民藝館所蔵品による 手仕事の日本—柳宗悦のまなざし—」結果報告

1. 名称：宮城県民芸協会設立 50 周年記念企画展  
「日本民藝館所蔵品による 手仕事の日本—柳宗悦のまなざし—」
2. 主催：「手仕事の日本」展実行委員会（宮城県民芸協会・仙台市博物館）
3. 特別協力：日本民藝館、日本民藝協会
4. 後援：河北新報社、毎日新聞仙台支局、朝日新聞仙台総局、読売新聞東北総局、産経新聞社東北総局  
日本経済新聞社仙台支局、仙台リビング新聞社、NHK仙台放送局、TBC東北放送、仙台放送  
ミヤギテレビ、KHB東日本放送、エフエム仙台、ラジオ 3FM76.2
5. 会期：平成 30 年 4 月 20 日（金）～6 月 3 日（日） 開館日数 40 日  
休館日 毎週月曜日（ただし、4 月 30 日（月祝）は開館） 開館時間 9:00～16:45（入館は  
16:15 まで）
6. 会場：仙台市博物館 企画展示室
7. 観覧料：常設展料金 一般・大学 460 円（360 円）、高校 230 円（180 円）、小・中学生 110 円（90 円）  
※（ ）は 30 名以上の団体料金。この他各種割引あり。
8. 展示構成： 第 1 章 柳宗悦と民芸 第 2 章 「手仕事の日本」  
第 3 章 東北の民芸 第 4 章 北海道と沖縄へのまなざし
9. 企画展関連展示：「所蔵品にみる仙台・宮城の伝統工芸」 期間：3 月 31 日（土）～7 月 8 日（日）
10. 関連イベント等：
  - (1) 記念講演会（申込制・聴講無料） 4 月 20 日（金） 13:30～15:00 博物館ホール 参加 133 人  
講師：杉山享司氏（日本民藝館 学芸部長） 演題：「柳宗悦の『手仕事の日本』をめぐって」
  - (2) 記念講座（申込制・聴講無料）  
5 月 19 日（土） 13:30～14:30 博物館ホール 参加 158 人  
講師：濱田淑子氏（宮城県民芸協会副会長） 演題：「柳宗悦と仙台の民芸」
  - (3) まちなか博物館講座（申込不要、聴講無料）  
5 月 13 日（日） 13:30～15:00 東北工業大学一番町ロビー2 階ホール 参加 48 人  
講師 寺澤慎吾（当館学芸員） 演題：「日本の手仕事ぐるり一周」
  - (4) ミュージアム・セミナー 4 月 22 日（日） 10:00～11:30 博物館ホール・展示室  
参加 28 人（教員 24 人、ボランティア 4 人）
  - (5) 友の会広報セミナー 4 月 23 日（月） 14:00～15:30 博物館ホール・展示室 参加 92 人
  - (6) 各種団体・学校等への展示解説 3 件（学校 2 件、その他団体 1 件） 参加 41 人
  - (7) プレイミュージアムイベント 「ミニ土人形に絵付けしよう」 会期中開催  
参加 751 人（大人 382 人、子ども 369 人）
11. その他（本展会期中に開催される民芸関係の行事）：
  - (1) 日本民藝協会主催イベント  
日本民藝夏期学校 平成 30 年 5 月 11 日（金）～13 日（日）  
※博物館会場は 5 月 11 日（金）のみ 参加 66 人  
13:10～14:00 講演会 会場：博物館ホール 講師：杉山享司氏  
15:00～16:30 小鹿田焼実演、原始布・古代織ギャラリートーク 会場：博物館ギャラリー
  - (2) 宮城県民芸協会主催イベント

「東北の手仕事のいま 暮らしの愛用品」 ※同時開催 手仕事ワークショップ  
会期：平成30年5月3日（木）～20日（日） 会場：博物館ギャラリー 参加2,319人  
助成：公益財団法人仙台市市民文化事業団

12. 観覧者数：20,692人（1日平均約517人）

13. 展覧会の様子や観覧者の感想

長時間じっくりと作品を眺めている方や作品について語り合っている方々が居り、印象的であった。若年層の来館も比較的多くあったように思われ、また、実演の開催日は特に来館者数が多く、民芸への関心の高さが窺えた。

<観覧者の感想（アンケート）>

- ・東北の民芸品の展示がとても良かった。祖父母も使っていたかもしれない民芸品をいろいろ見られてなつかしい気持ちになった。
- ・自分の持っている物に近い衣など興味深く、日本の技術とセンスの良さに感動した。
- ・落ちついた雰囲気とても良かったが、少し暗いと思うこともあった。
- ・北海道、沖縄の民芸品がもっと多ければよいと思った。